

子宮頸がん予防ワクチン シルガード9

Topics

シルガード9によるHPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)の定期接種が2023年4月から開始されます。

当院小児科では、これまでHPVワクチンの定期接種にガーダシルを用いてきましたが、4月からはシルガード9に変更して接種を行います。

1 シルガード9とは？

HPV(ヒトパピローマウイルス)感染症を予防するシルガード9には、ガーダシルに含まれる4つのHPV型(6/11/16/18型)に、5つのHPV型(31/33/45/52/58型)が加わることで、より幅広いHPV型に対する疾患の予防が期待されます。

またシルガード9は、子宮頸がんの原因のおよそ80~90%を防ぎ、感染予防効果はガーダシルより高いとされています。

ガーダシルに含まれる4つのHPV型の分量は、シルガード9にも同量又はそれ以上含まれていますので、ガーダシルからシルガード9に切り替えても免疫原性は同等かそれ以上期待することができます。シルガード9の方がガーダシルより注射部位の副反応(疼痛、腫脹、紅斑など)が2~3ポイント増加したようですが、大きな違いはないと考えています。

2 シルガード9を用いた定期接種の対象と接種方法は？

定期接種の対象は、小学校6年生から高校1年生の女子で、1回0.5mlを筋肉内に注射します。

シルガード9接種スケジュール

15歳になるまでに初回接種を受ける場合

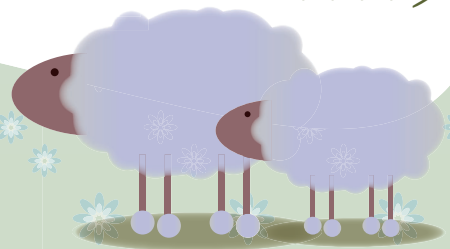
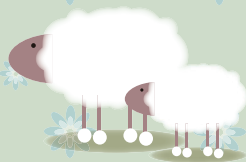
15歳になるまでに初回接種を受ける場合には、初回接種から6~12か月の間隔を置いて、合計2回接種するのが標準的な接種となります。

(1回目と2回目の接種間隔が、5か月未満の場合は、3回目の接種が必要となります)

計2回接種



裏面に続く
.....>



子宮頸がん予防ワクチン シルガード9

15歳になってから初回接種を受ける場合

15歳になってから初回接種を受ける場合には、合計3回の接種が必要で、2回目は初回接種から2か月後、3回目は初回接種から6か月後に接種するのが標準的な接種です。

計3回接種



1回目



2回目



3回目

2か月

6か月

3 ガーダシルをすでに1回または2回接種している場合は、どうすれば良いですか？

合計3回の接種となります。ガーダシルで残りの接種を完了させることは可能ですが、シルガード9に切り替える（交接種）ことも認められています。

当院ではシルガード9での接種をおすすめしますが、ガーダシルでの接種を希望されるかたは、予約の際にお申し出ください。当院ではご希望に沿った対応をさせていただきます。

これまでに1回だけ接種しているかた	・2回目……初回接種から2か月（少なくとも1か月以上）の間隔を置いてシルガード9で接種します。 ・3回目……2回目接種から6か月（少なくとも3か月以上）の間隔を置いてシルガード9で接種します。
これまでに2回接種しているかた	・3回目……2回目接種から6か月（少なくとも3か月以上）の間隔を置いてシルガード9で接種します。
すでに3回接種しているかた	接種は必要ありません。

自由が丘メディカルプラザ 小児科

2023年4月1日
日本小児科学会認定専門医
齋藤 義弘

